



高山西ロータリークラブ

# 例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄



「アマガエル」 蜘蛛 康介

## ＜会長の時間＞ ～前回の会長の時間の続きです～

麻酔が完了し、手術開始の準備が整いました。一旦メスを入れればこの先すべての事が私の責任になります。果たしてうまくやれるだろうかという不安感が強くて、できることならこのまま中止したい気持ちでした。スタッフ全員がスタンバイしているのでわけもなしに中止することはできません。メスを取ったのは午前1時を過ぎていました。いざ手術を始めると、脂肪が多くてあちこちから出血するし、なかなか思うように手術は進みません。



一般的に手術の現場では一つの流れがあって、手の動き、メスさばき、鉗子、ハサミの動き、すべてがリズムに乗って優美にさえ感じられます。手術の時の緊張感とリズムに乗った快感は何物にも代えがたいものです。ところが現実には4本の手は3本以下の働きしかできません。焦れば焦るほど空回りして手術は進みません。イライラが募り精神的にも肉体的にも疲れ果てて集中力はなくなり、動きが乱暴になってきました。隠れていたかなり大きな血管を切ってしまいました。後で思うとこのことが運命を変えました。

突然出血がおこり、アッという間に血の海になりどこから出血しているのかわからなくなってしまいました。あわてて鉗子で止めようとしても出血源がわかりません。術者が困った状況になったときすかさず手助けするのが助手の役目です。ところが目の前の助手はなすすべもなくぼう然としています。ガーゼを2センチくらいの厚さに縫い合わせた雑巾と呼んでいたもので圧迫して、何とか出血は止めることができました。わきから冷や汗は出るし、孤立無援の状態です。

ここで手術を中止すれば15分か20分で手術を終えることができるが患者さんを助けることはできません。この時点では何時間くらいで手術を終えることができる予測ができませんでした。手術を続行しても途中で死亡する可能性もありますが、患者さんの命を助けることができるチャンスはあります。どうすればいいのか…いろいろなことが思い浮かびます。

私が大学の外科の医局にはいつの間もないころ、ある心臓外科の先輩が「折茂君今から僕のアルバイト先の病院でアップの手術があるけどやってみるか」と言って私に初めての手術をさせて下さいました。その時先輩が「外科医の仕事はメスで人の命を助けることだよ。将来どうにも手の付けようのない難しい手術に出会うことが

あると思うけど、1ミリ1ミリと丁寧にいろんな方向からやっつてごらん、どんな手術でも大丈夫だよ」と教えて下さいました。この人は後に金沢医科大学の教授になられました。

その言葉をふと思い出しました。心構えを変えた途端に周囲の状況は全く同じなのに焦りと怖気が消失しました。3本以下の働きしかできなかった4本の手がほとんど4本に近い働きができるようになりました。少しずつリズムが出てきました。手術が終わったのは午前5時を過ぎていました。

患者さんは何の問題もなく無事退院されました。必死の思いで手術した私の事は夢にも気づいていなかったと思います。しかしこの経験は外科医として、人間としての私に巨大なインパクトをあたえ、財産となりました。成功と失敗の分かれ目は、起こってしまったことをどう考えどう対処するかで決まり、わが身の利害を捨てて人のためと思うことこそ運が好転するもたと信じることができるようになってきました。

## ＜幹事報告＞

◎2011～2012 年度ガバナー、

地区代表幹事より

・2011-2012 年度ガバナー事務所

閉鎖のお知らせ 8/27 をもって閉鎖

◎国際ロータリー第2630地区社会奉仕部門委員会 委員長 より

・節電シール配布について

◎ロータリー囲碁同好会より

・『第11回ロータリー全国囲碁大会』開催のお知らせ

大会日時 10月20日(土) 9:30 登録受付 10:00 開会式  
16:30 表彰式

大会会場 日本棋院会館 (東京・市ヶ谷) 1F 対局場

主催 ロータリー囲碁同好会日本支部

共催 第2580,2750両地区 ホスト 東京ロータリークラブ

登録料 7,000円 (昼食代、賞品等含む)

◎ロータリーの友事務所より

・広報誌発刊のお知らせ



# 奉仕を通じて平和を

# 例会報告

## ◎国際ソロプチミスト高山より

・新事務局のご通知(2012年9月～2013年8月)

〒506-0055 高山市上岡本町 7-454 北村 教子(会長)

TEL 32-0832

### <例会変更> 美濃加茂

9月14日(金)は、ガバナー公式訪問4クラブ合同例会のため

12日(水)12:30～ シェパテル美濃加茂に変更

9月21日(金)は、お月見夫人同伴例会のため

18:00～ シェパテル美濃加茂に変更

10月19日(金)は、中山道まつり(秋の陣)協賛例会のため

21日(日) 9:00～ 中山道会館イベント場 に変更

### <受贈誌>

社団法人高山市文化協会(広報高山の文化)、飛騨作家協会(文苑  
ひだ第3号)

### <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	休会	のため	補正	ありま	せん
本日	40名	—	40名	50名	80.00%

### <本日のプログラム> ガバナー補佐訪問



#### 国際ロータリー第2630地区濃飛グループガバナー補佐

上野田 隆平 様

第1回目のAG訪問をさせていただき、各クラブの活動予定、運営についての状況などお聞きいたしました。

各クラブにおかれましては、それぞれのカラー(考え、志向、雰囲気など)に特色があり、同じロータリアンとしてとても興味深く、また感心したり、驚いたり致しました。

各クラブ共通の課題は、会員減少といえるのですが、なかには多くの新入会員を獲得されたクラブもあります。会員増強をされているクラブは、やはり増強するための努力のベクトルが強く、方向性が明確であるように感じました。担当される会員だけでなく、クラブを上げて増強にまさに邁進されている印象を受けました。

会員増強の成果とクラブの財政(クラブの経済状態)はまさに比例しています。一定以上の成果を超えると加速度的に財務体質がよくなっています。そのようなクラブはまさに「地域社会の改善」に取り組む力を持っていると思います。

対極にあるといっは申し訳ありませんが、会員が減少し、財政が逼迫している場合は、会員の増強が喫緊の課題であり、ロータリー活動は「ネットワークづくり」に重きを置いたことになるのでしょうか。

多くのクラブが、あるいは多くの会員が「スキルを生かしたボランティア活動」に取り組んでいます。職業を通じた奉仕活動とともに、より一層、会員各自のスキル(教養や訓練を通じて獲得した能力)をクラブの運営、活動に生かしていくことが必要だと感じました。

ロータリーの標語「超我の奉仕」実践の指針は、「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「新世代奉仕」の5つの部門です。5つがバランスよく機能していれば良いのですが、現実はそのようではありません。

お叱りと不勉強を省みず、クラブの財政と5つの奉仕部門をチャートにしてみると次のような関係になります。

1:クラブのタイプはだまかに4タイプに分かれています。

**運営の安定度:**「クラブ奉仕」「職業奉仕」

(会員数の増減、財務内容、組織など)

**発信力:**「社会奉仕」「国際奉仕」「新世代奉仕」

(地域での奉仕活動、交換学生、など)

		運営の安定度 高い		
発信力 低い	B	A	発信力 高い	A: 模範的?
	D	C		B: 伝統的?
		運営の安定度 低い		C: 自己満足的?
				D: 自信喪失的?

Aタイプのクラブはまさに模範的なクラブで、潤沢な予算を交換学生など活動のための原資にしている。

Bタイプでも比較的Aタイプに近いクラブから、安定度が高いにもかかわらず情報発信するような事業が少ないクラブもある。

Cタイプのクラブは、活動を特化して集中的に予算を使っているが、活動の規模に比べ体質が脆弱。

Dタイプのクラブは、会員の自信を取り戻すためにもロータリーの基本に戻る事が必要。

「CLP」の導入・・・Aタイプは活動のツールとして導入が早い。

Bタイプは導入におおよそ慎重。導入に熱心な

奉仕を通じて平和を

## 例会報告

- 会員がいると導入自体が目的となっている。
- C 会員増強が主な関心事。会員相互の信頼は厚いが、自己満足の活動が会員増強の障害かも・・・
- D 先ずは、「ロータリー活動に参加している」と実感できるような活動を行なう。

以上のような各クラブの実情により、CLP の導入に温度差があると思われる。

したがって、A タイプと D タイプは「効果認識」で CLP 導入によって活発化を促す。但し D タイプは、地区、スポンサークラブの手厚い指導が不可欠と思われる。

B タイプと C タイプは「手続き優先」でまずは導入することから始めることが良いように思われる。

### 会員スピーチ



岡田 賛三

8 / 3 付寄稿 一期一会より



山本 善一郎

7 / 1 3 付寄稿 一期一会より

### <ニコニコボックス>

#### ●濃飛グループガバナー補佐 上野田 隆平 様

本日はよろしくお祈りします。

#### ●折茂 謙一さん

濃飛グループガバナー補佐 上野田 隆平 様、御来高御苦勞様です。

#### ●米澤 久二さん

上野田ガバナー補佐のご来訪ありがとうございます。本日は御指導よろしくお祈りします。

#### ●小森 丈一さん、伊藤 松寿さん、田近 毅さん、小田 博司さん

上野田ガバナー補佐のご来訪を心より歓迎致します。本日のクラブアッセンブリー、ご指導よろしくお祈り致します。

#### ●山下 明さん

妻の誕生日に花束をいただきありがとうございました。

#### ●内田 幸洋さん

夫婦で韓国に行つて来ました。まだ竹島問題が発生する寸前でしたので良い旅行が出来ました。

#### ●向川原 毅彦さん

ウォーキングを始めて3ヶ月で5Kg 痩せました。リバウンドしないよう、もう少し頑張ります。

#### ●岡田 賛三さん

本日の新聞で紹介されましたADC 賞受賞を感謝して。

## ガバナー補佐ご臨席 クラブアッセンブリー

例会終了後、上野田ガバナー補佐ご臨席にてクラブアッセンブリーを行いました。各委員長による活動状況報告に対し、様々な角度からのご指導を頂きました。



上野田ガバナー補佐、ありがとうございました。



#### 一期一会

#### 田近 毅

- 春と秋に小さな落語会を友達と開いて6年になります。春は江戸落語、秋は上方落語を行ない、お子様からお年寄り様まで楽しんで頂いていると自分なりに自己満足しています。
- この秋は10月21日に行ないますので、是非お運びください。
- 6月金沢で行なわれた落語会のチケットが手に入らず、某料理屋さんにお祈りして取って頂きました。当日隣の席の方に田近さんですかと声を駆けられ、チケットを取っていただいた方だと知りました。幕間に色々お話ししたら、偶然にも、大学の先輩で金沢にて病院をされている方でした。40年ほど前から金沢落語会の面倒を見ておられ、多くの師匠さんとお知り合いとのことで、いつでも相談に乗りますよと頂いて頂き強い味方を得ました。
- 今後はお教えをいただいて、ふれあい落語会を続けて行きたいと思っています。出合いは大切にしたいものです。

奉仕を通じて平和を